

キャラクター名
仙波 明彦 (センバ アキヒコ)

プレイヤー名

シンドローム	バロール オルクス		ワークス	UGN支部長C	カヴァー	マスター
	オプション		年齢	25	性別	男
覚醒	探求	衝動	破壊	初期侵食率	30	%
出自	疎まれた子	経験	平凡への憧れ	邂逅	忘却	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	28
肉体	0	0	0	1		1	行動値	10
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	10
精神	3	1	0	2		6	戦闘移動	15
社会	3	0	0			3	全力移動	30

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	13		交渉		1
回避			知覚			意志	2	1	調達	3	
運転:			芸術:			知識:レネゲイド	2		情報:UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
ホネのバッジ (思い出の一品)	
ウェポンケース	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
変異種: オルクス	P	N		
両親	P 尽力	N 疎外感		
王 アイカ	P 好意	N 悔悟		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 12 残り財産P: 9

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
万色の檻	3	5	セット	至近	自身	自動	D	
効果: ラウンド間あらゆる判定ダイス+[LV*2]、3回/シナリオ								
雨粒の矢	5	3	メジャー	視界	シーン(選択)	対決	-	
効果: 攻撃力+[LV*2]								
塞がれた世界	3	3	メジャー	-	-	対決	-	
効果: 攻撃力+[LV*3]								
リフレ: オルクス	2	2	リアク	至近	自身	-	-	
効果: C値-[LV](下限7)								
幸運の守護	★	1	リアク	至近	自身	対決	-	
効果: <RC> でドッジ								
グラビティバインド	3	3	オート	視界	単体	自動	-	
効果: 達成値-[LV*3]、1回/ラウンド								
運命の切り替え	3	3	オート	視界	単体	自動	-	
効果: 代理でドッジを行う、[LV]回/シナリオ								
反転する運命	★	4	オート	至近	自身	自動	リミット	
効果: ダメージを自身に返す、1回/シナリオ								
ディメンジョンゲート	★	3	メジャー	至近	参照	自動	-	
効果: 空間を接続する								
地獄耳	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果: 領域内の出来事を見聞きする								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

平穏と平凡を望む昼行灯な青年。
常に笑顔を浮かべているため何を考えているか分からないと言われがちだし、本当は腹黒とも思われがちだが、物腰穏やかで全くの無害な性格をしている。なお同僚日く、怒った姿は一度たりとも見たことはないらしく、絶対に怒らせたくないとも言われるのだから。

推定ではあるがレネゲイド拡散以前よりオーヴァードであったとされる。
幼き子供の力でありえない怪力を生み出す、視界内の遠くのもの動かす、などといった超常的事象が度々確認されており、それを気味悪がった両親は彼を置いて失踪。その後国内にUGNが結成してからチルドレンとして迎え入れられる。同様に超常の力を持つ子供たちと出会うことで、彼の孤独感は薄れていった。

彼の能力を言葉で表すのなら、総てを『曲げる』能力と言えるだろう。
視界内——彼の領域内に起きた、見える見えない、形のあるなしに関わらない全ての事象を捻じ曲げることができる。
領域内において最強と呼ばれるオルクスシンドロームの持ち主の中でも特に領域を調整する能力に特化しており、研究者や教育者は彼の領域の広さは計り知れないとすら言ったのだから。
ちなみにこの二つのシンドロームは発見が遅かったこともあり、分類を決めるにあたってブラックドッグ・キュマイラ・エグザイル・ハヌマーン・ソラリスなど、好き勝手に言われていた。

そんなこんなで能力と実績を評価され、5年間のFHへの潜入任務を告げられた。
UGNという組織から見放されれば次こそ居場所がなくなることを恐れた彼は、その任務に文句一つ言わずに出立した。FHにおいての立場も、帰還後の立場も、決して良くはないことの予想を付けた上で。

基本方針は無理をしないこと、自分の感情を優先すること、そして他人を敬うこと。支部長になった今でもそれは変わらない。